

百の診療所より一本の用水路を

劇場版

# 荒野に希望の灯をともす

朗読 石橋蓮司 / 語り 中里雅子

取材 柿木喜久男 / 大月啓介 / アミン・ウラー・ベーク

CG 平野雄一 / 音効 渡辺真衣 / 大島亮 / 演奏 中村幸

編集 櫻木まゆみ / 撮影・監督 谷津賢二 / 構成・制作 上田未生

文化庁文化芸術振興費補助金 / 独立行政法人 日本芸術文化振興会  
企画 ペンシャワール会 / 製作 日本電波ニュース社 2022年 / 日本 / カラー / 90分

20年以上に渡り撮影した映像素材から 医師 中村哲の生き様を追うドキュメンタリーの完全版！

# 武力で平和は守れない

これは「生きるための」戦いだ。

アフガニスタンとパキスタンで、病や貧困に苦しむ人々に寄り添い続けた男、医師・中村哲。戦火の中で病を治し、井戸を掘り、用水路を建設してきた。なぜ医者が井戸を掘り、用水路を建設したのか？その答えは、命を見つめ続けた中村の生き様の中にあり、私たちはこの映画で中村が生きた、その軌跡をたどることになる。



「彼らは殺すために空を飛び、  
我々は生きるために地面を掘る。」 —中村哲

中村の誠実な人柄が信頼され、医療支援が順調に進んでいた2000年。思いもよらぬ事態に直面し、中村の運命は大きく変わる。それが“大干ばつ”だ。渇きと飢えで人々は命を落とし、農業は壊滅、医療で人々を支えるのは限界だった。その時、中村は誰も想像しなかった決断をする。用水路の建設だ。大河クナルから水を引き、乾いた大地を甦らせるというのだ。しかし、医師にそんな大工事などできるのか？戦火の中で、無謀とも言われた挑戦が始まった。

「ここには、天の恵みの実感、誰もが共有できる希望、  
そして飾りのないむきだしの生死がある。」 —中村哲

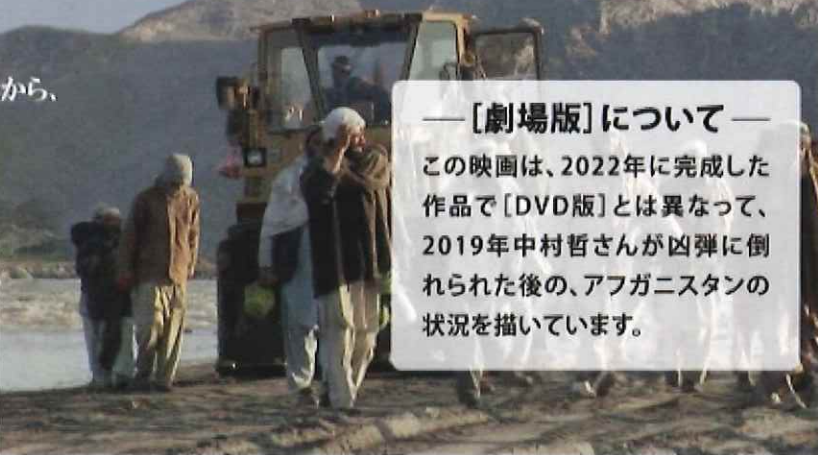
専門家がいないまま始まった前代未聞の大工事は、苦難の連続だった。数々の技術トラブル、アフガン空爆、息子の死・・・中村はそれらの困難を一つ一つ乗り越え、7年の歳月をかけ用水路は完成。用水路が運ぶ水で、荒野は広大な緑の大地へと変貌し、いま65万人の命が支えられている。そして—。

2019年12月。さらなる用水路建設に邁進する最中、中村は何者かの凶弾で命を奪われた。その報にアフガニスタンは悲しみに沈み、ニューヨークタイムズ、BBCなどが悲報を世界に伝えた。あれから2年半。日本ではその生き方が中学や高校の教科書で取り上げられ、母校の九州大学はその思索と実践を研究し始めた。中村の生き様は静かに語り継がれ、輝きを増しながら人々を励まし続けるだろう。そして用水路はこれからもアフガン人の命を支え続けていくだろう。

戦火のアフガニスタンで21年間継続的に記録した映像から、これまでテレビで伝えてきた内容に未公開映像と現地最新映像を加え劇場版としてリメイク。混沌とする時代のなかで、より輝きを増す中村哲の生きざまを追ったドキュメンタリー！

— [劇場版] について —

この映画は、2022年に完成した作品で [DVD版] とは異なって、2019年中村哲さんが凶弾に倒れた後の、アフガニスタンの状況を描いています。



茅ヶ崎良い映画を観る会第438回特別例会

『荒野に希望の灯をともし』 (日本語字幕付き)

2025年5月25日 (日) 茅ヶ崎市民文化会館小ホール

上映時間：①10:30 ②14:00 ③19:00 (開場各回30分前)

前売り：一般1200円 中高生・ハンディ800円 (当日各200円増)

プレイガイト：茅ヶ崎市民文化会館 / 長谷川書店 (茅ヶ崎駅北口・南口店)

主催：茅ヶ崎良い映画を観る会

後援：茅ヶ崎市 / (公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団

問合せ：福田0467-86-8038 木村0467-83-7744 山本090-5408-4041